

埼玉県信保協、「中小企業を笑顔に」 クオッカのキャラ制作

2026.04.27 09:01

名前
ハピたま

名前の由来
ハッピー+さいたま

誕生日
6月25日

出身地
埼玉県の山奥の「にっこり村」
先祖はオーストラリア出身

役職
スマイルリーダー

特技
幸せあふれる笑顔

夢・目標
中小企業者の皆さまを
笑顔にすること

デザインコンセプト

- 口角が上がった表情が笑顔に見えることから「世界一しあわせな動物」と称される「クオッカ」をモチーフとしてデザイン。
- 当協会の支援で「中小企業者の皆さまを笑顔にしたい」という思いと、「ハピたま」の笑顔を通じて「協会に親しみをもっていたきたい」という思いを込めました。

「クオッカ」とは？

- カンガルー目 カンガルー科
- オーストラリアのロットネスト島に生息
- 国内でクオッカを飼育しているのは「埼玉県こども動物自然公園」だけ

埼玉県信用保証協会
イメージキャラクター
ハピたま

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）は4月27日、初めて制作した協会のイメージキャラクター「ハピたま」を公開した。認知度向上や広報物の充実などが狙い。国内では唯一、埼玉県内の動物園で飼育されていて、笑顔に見える表情が人気の「クオッカ」をモチーフにした。

20～50代の男女11人の職員で構成するプロジェクトチーム（PT）が7カ月かけてキャラクターを生み出した。カンガルー科のクオッカは、口角が上がった表情から「世界一しあわせな動物」とも呼ばれる。「中小企業を笑顔にしたい」という思いとマッチしたことからモチーフに選んだ。

PTメンバーの中谷彩耶さんは「クオッカのかわいさは知っていたが、埼玉でしか見られないと聞いて、協会のキャラに良いのでは」と提案した経緯を説明。キャラの名前は「ハッピー」と「さいたま」から2文字ずつ取った。

認知度向上に向け、キャラクターをあしらったウェットティッシュ2000個、フラットポーチ2000個、ブック型付箋（ふせん）2000個などを作り、配布していく。